



第24話 女性の政治参加

「議員を目指して選挙に出ようか迷っている」という女性の方から相談を受けることが時々あります。私も7年程前に大いに悩み、女性議員の方に何度も相談しましたが、そもそも議員ってどんな仕事?休みは取れる?など、分からないことが山ほどありました。相談された時にはそんな情報を提供しつつ、私自身がそうされてきたように、「自分なりに頑張れ

ば大丈夫」と励ますように心がけています。いろんな立場の声を届けるために、政治の場にはもっと女性が必要だと思います。



真庭の女性市議さんを招いた「私たちのおしゃべり会」@コットン古都夢



おおつかあいプロフィール
1974年1月10日生まれ。旭操小学校、操南中学校、岡山朝日高校、岡山大学教育学部卒業。99年より福島県で農業研修。4年間の大工修業の後、自宅を建て、大工として働く。2011年3月福島原発事故により一家で岡山に避難。5月「子ども未来・愛ネットワーク」を立ち上げ、避難移住者のサポートや福島の子どもの保養受け入れなどを行う。北区建部町に夫、3人の子どもと暮らす。2016年から県議会議員。

大塚愛 いっぽ通信

岡山県議会議員
大塚愛 県政レポート[第24号]
発行:2022年10月(2022年9月議会報告)

最新情報を発信しています

- Facebook: ・みどり岡山 www.facebook.com/greenokayama ・大塚愛 www.facebook.com/ohtsuka.ai.3
- みどり岡山ホームページ: http://midori-okayama.org

【事務所】
〒700-0971
岡山市北区野田5-8-11
Tel:086-244-7721
Fax:086-244-7724
e-mail:info@midori-okayama.org
http://midori-okayama.org/
【自宅】
〒709-3122
岡山市北区建部町吉田321
携帯:070-5056-3808
e-mail:ai.raku@shokan.jp

大塚愛

県政レポート(2022年10月発行)[第24号]



秋明菊の花言葉: 淡い思い、忍耐

いっぽ通信

P.02-03 性暴力をなくすために

- P.01 原発や旧統一協会について考えること
- P.02-03 おもな活動記録から「県立高校での支援/学校の断熱改修」
- P.04 愛ちゃんがゆく! — 県議体験記 — /日々のうごき(2022年7月~10月)



みなさま、こんにちは。
ウクライナ侵攻や物価高など、気候だけでなく様々なことが変動し、暮らしの影響を受ける今日この頃です。
また、岸田首相は原油高騰などを理由に、原発の再稼働や新設を唐突に打ち出しましたが、地震列島の上で原発を動かすことは、大きなリスクを常に抱えることを意味し、かつロシアのような攻撃を受ける可能性もあります。原発依存に戻るのではなく、再生可能エネルギーや蓄電、送配

電システムの改善などを優先し、解決を図るべきだと思います。
9月には安倍元首相の国葬が、多くの国民が反対している中で行われました。銃撃事件によって表に出た旧統一協会の問題は、政治家との癒着を背景に、社会的な問題のある教団が活動を続けてきたことや、夫婦別姓やLGBTなど多様な価値観を認めないよう糸を引っ張ってきた。来春の統一地方選挙に向



岡山での国葬反対集会には400人近く集まりました

けても、地方議員と旧統一協会の関係が断ち切られるのか、注視していく必要があると思います。



10月開催の岡山レインボーフェスタ。LGBTQ(セクシャルマイノリティ)の方をはじめ、誰もが自分らしく生きられることを願う楽しいイベントでした。

また、今年3月に制定された「岡山県家庭教育応援条例」にも、旧統一協会の関係者が増加してきたことが、報道により明らかになっています。

この条例は、古い家族像や子育ての価値観を押しつけるものとして、2万筆の反対署名が届けられたにも関わらず、自民党と公明党の賛成で可決されました。
何かを強制する条例ではありませんが、これが後押しになって旧統一協会のような人権意識に欠ける組織が、今後の行政の事業に関わる可能性も懸念されます。
子どもを社会全体で支えることは今まさに大切なことですが、子どもの権利や多様性の視点に欠けるような条例は無用にしたいです。

日々のうごき

2022年7月~10月

- 7.7 みつカフェ@御津高校、盆踊り練習 @竹枝小
- 7.9 おしどりマコ講演会@グリーンコープ生協online
- 7.10 佐藤定展、SNS相談研修@さんかくナビ
- 7.11 フラワーデモ@エキチカ広場
- 7.12 常任委員会県内調査(西栗倉・津山・美作~0913)、埼玉県ケアラー支援条例ヒアリングonline
- 7.13 NPO3・11ツナグ定例会online
- 7.14 岡山市農林水産課と意見交換
- 7.15 常任委員会(環境文化保健福祉)、県政広報テレビ収録
- 7.16 ユニオンおかやま定期大会
- 7.17 福ふく市@福渡駅、家庭教育応援条例の勉強会@山口ともみ氏
- 7.18 コロナ感染自宅療養(~0727)
- 7.27 顔出しパネル見学@総社南高校
- 7.28 気候変動自治体議員全国会議online
- 7.29 常任委員会県内調査(高梁・新見)
- 7.30 さえずりカフェオープンニングセレモニー@きらめきプラザ
- 7.31 KOTOMO基金シンポジウムonline
- 8.2 高校進学調査の動画収録、「平壤の人々」写真展、県教委進路相談会

- @さんがくバル
- 8.3 常任委員会県内調査(進山古墳、玉野市民病院)
- 8.5 福島県川内村教育長訪問
- 8.12 常任委員会
- 8.15 移住定住・空き家活用のお話 @建部支所
- 8.17 断熱改修準備作業、たけべ部
- 8.18 断熱改修ワークショップ@操南中学校、サポステおかやま同行
- 8.19 みどり岡山会議、障害福祉・指導監査ヒアリング
- 8.20 精神疾患のご相談、福谷地区花火大会
- 8.21 奉仕作業@竹枝小、福ふく市、「みんなの第九」練習会@大和公民館
- 8.22 常任委員会、代表質問読み合わせ、決算特別委員会レク
- 8.23 御津高校説明会@東山公民館、国葬反対集会準備会
- 8.24 常任委員会、立憲自治の会
- 8.25 決算特別委員会、NPO法人未来への会議
- 8.26 水産研究所視察
- 8.27 かこさし展、灯ろう流し@緑と水の道
- 8.30 重度訪問介護事業所のお話@県庁
- 8.31 たけべ部
- 9.1 みつカフェ&悠々ホルン氏研修
- 9.4 水彩連盟岡山支部展、おかやま彫刻企画
- 9.5 9月議会開会、教職員課ヒアリング
- 9.6 決算特別委員会
- 9.7 性暴力被害者支援センターおかやま心訪問
- 9.8 代表質問(住吉議員)、デートDVお話し会online
- 9.9 県警ヒアリング
- 9.10 加茂川ホリデイフォレスト、お月見会@御津河原邸

- 9.11 国葬反対集会@石山公園、フラワーデモ
- 9.12 一般質問(~0916)15日に登壇
- 9.15 建築の断熱性能調査の意見交換online
- 9.17 竹枝小学校運動会、県精神障害者団体連合会での講演@きらめきプラザ、竹島潤先生フィリピン報告会online
- 9.18 福ふく市、ひまわりプロジェクト発送、ギャラリー-T.M.
- 9.20 福島原発おかやま訴訟
- 9.22 決算特別委員会
- 9.23 気候変動スタンディング@岡山駅、観音寺用水ホタル再生会議
- 9.24 総社宮草刈り@吉備中央町、手話講座
- 9.26 常任委員会、選挙プラットフォームヒアリング、県議会vs執行部野球大会
- 9.27 竜墨書道会展、建部中学だっぴ打ち合わせ、江田弘良氏風景写真展
- 9.28 みつカフェ@御津高校
- 9.29 9月議会開会
- 10.1 緑と水の道会議@絵図町公会堂
- 10.2 わっしょいわんさか開会式 @吉備中央町
- 10.3 NPO法人未来へ運営体制会議
- 10.4 特別支援教育課ヒアリング
- 10.5 乗馬ふれあい体験@竹枝小
- 10.7 決算特別委員会
- 10.8 障がい児者と親が安心して暮らせるまちづくりフォーラムonline、車いすロードレース開会式

9月議会で取り上げたことから 性暴力の防止と寄り添う支援を



「いっぽ通信Plus!」
動画はこちら

学校における性暴力について

Q. 教職員による性暴力の防止のための法律が4月に施行されました。過去10年に県内で処分を受けた教職員の状況やその受け止めは?

A [教育長]. 性暴力等で懲戒処分になった教職員は10年で15人。教職員による性暴力は子どもの心に取り返しのつかない深い傷を負わせる、絶対にあってはならない行為である。

Q. 子どもは被害を訴えにくいことから、定期的な調査を行うことが必要では?

A [教育長]. スクールカウンセラーや匿名で

相談できるアプリ(スタンドバイ)を積極的に活用するよう指導して、相談しやすい環境づくりに努めている。

Q. 先進的な取り組みをしている千葉市のように、性暴力が発見された時点の初期対応からその後の支援までを示すフロー図を作るなどしてはどうか?

A [教育長]. 他県の取り組みも参考に、専門家の協力を得ながら、子どもから相談を受けた場合の対応方法や、支援の注意点などを整理して、研修で伝えていきたい。

Q. 性暴力被害を受けた子どもの支援には、専門的な知識が欠かせず、支援団体との連携や、学校内の対応力を向上させるための教員への研修が必要では?

A [教育長]. 被害を受けた子どもには専門的な支援が必要だ。そのために、管理職や養護教諭等が性暴力による様々な影響について理解を深め、関係機関と連携した支援ができるよう学ぶ機会をもてるよう研修を検討したい。

障がいのある方の性暴力被害について

Q. 県内の施設職員や養護者による障がいのある方に対する性的虐待は過去10年で何件か。また、早期発見や防止のために、踏み込んだ対策が必要ではないか?

A [保健福祉部長]. 約10年間で30件確認している。虐待について声を上げやすくなるようにパンフレットの活用を働きかけているところだが、さらなる周知啓発をしていきたい。

Q. 障がいがある方からの警察への性暴力被害の相談において、さまざまな障がいに対応した丁寧な対応が不可欠だが、どのように取り組んでいるのか?

A [警察本部長]. 性犯罪指定捜査員が中心になり、被害者の特性に応じて配慮した対応に努めている。また捜査員の研修では門医師等を講師として、理解を深めるための教育に取り組んでいる。

性教育について

Q. 性という観点から、自らの心や体、価値観を理解し、他者との関係性を考え、責任ある選択ができるようになることは、子どもたちの生きる力を支えるために重要だ。海外の多くの国では、2009年にユネスコが発表した「国際セクシャリティ教育ガイダンス」に沿って、より早い年齢からしっかりと包括的な性教育が行われている。本県

でも、より包括的な性教育について検討すべきではないか?

A [教育長]. 包括的性教育の内容についても、外部講師を活用しながら指導している学校もある。教員研修を通じて、本県の現状や最新の知見などを周知しながら、性に関する指導の充実を図っていきたい。

Q. 「いのちの安全教育」は、子ども達が性暴力の被害者にも、加害者にも、傍観者にもならないよう、性暴力の根底にある誤った認識や行動などを理解する教育だが、本県では、これをどう位置付け、どう進めるのか?

A [教育長]. 学校全体で進めていくべきものと考えており、国の教材を周知し、保健体育や学級活動などの授業で活用するよう促し、児童生徒向けの啓発リーフレットを作成するなど、進めていきたい。

生理用品の無償提供

Q. 8月に開催された「高校生大討論会」で、あるグループから「公共施設に生理用品を設置してほしい」と提案が出された。生理用品の購入が難しい方だけでなく、急に生理が始まった時にもトイレにあ

る生理用品を使えることは、女子生徒にとって学校生活の快適さを大きく向上させるものだと思う。ある県立高校では女子トイレに自由に使用できる生理用品が設置されているが、アンケート調査では6割の生徒が今後でも置いてほしいと回答している。他の高校でもトイレに設置してはどうか?

A [教育長]. 県立学校では昨年に続き、すべての学校で無償提供できる体制を整えており、多くの場合は保健室で渡すことにしている。トイレに置いている高校の事例も紹介して、各学校で生徒の声を把握するよう努めたい。

住宅の断熱と省エネ

Q. ZEH (net Zero Energy House)とは、家庭で使うエネルギーを實質ゼロ以下にできる家のことで、消費エネルギーを大幅に減らした上で、残りのエネ

は、家庭で使うエネルギーを實質ゼロ以下にできる家のことで、消費エネルギーを大幅に減らした上で、残りのエネ



ルギーを主に太陽光発電で賄う住宅だが、国は2030年に新築住宅のすべてでこれを達成することを目標にしている。また鳥取県では、ZEHよりさらに高い欧米並みの断熱基準を県独自の基準として、補助制度や工務店への研修を行っている。断熱性能を上げることは、環境面だけでなく、手足の冷えや様々な疾患を減らせる健康面や、ランニングコストが抑えられる家計にもよいことが示されている。

既存の住宅の二重窓やZEHのための補助制度も設けられています。

A [知事]. カーボンニュートラル実現のため、住宅の省エネ化は重要な取り組みだ。今後、住宅の省エネ化の普及啓発や技術者育成を積極的に推進したい。

A [環境文化部長]. 環境面だけでなく、光熱費を含むトータルコストや健康面、快適性のメリットなどを伝える効果的な啓発方法を検討し、県民、市町村、工務店に周知していきたい。

ひとりで悩まないで

いやなのに体を触られた...
駅やお店で盗まれたかも...
恋人やSNSで知り合った人に裸の写真を送ってしまった...

あなたが望まない性的な行為は性暴力です
まずは「おかやま心」に話してみませんか?

性暴力被害者相談専用電話
086-206-7511

全国共通電話番号 #8891 (はやくワンストップ)でもつながります
月~土曜日 9:00~17:00 (祝日及び年末年始を除く)
上記以外の夜間休日でも、そのままお電話ください
県のコールセンターへ転送されます

もしも性暴力が起こった時には相談ください

性暴力被害者支援センター「おかやま心」
岡山県

「県立高校での支援の実態」説明会 @東山公民館 (8月23日)

「発達障がいなどがある生徒に対して、県立高校ではどんな支援があるのか」という話はあまり聞ける場がありませんが、親の会などの支援団体と御津高校が協力されて説明会が実現しました。校長先生からは、高校での具体的な配慮について熱心な説明があり、保護者から出

された様々な質問にもしっかり向き合って答えていただきました。こんな高校があった嬉しいという声も多く聞かれましたが、教職員の特別支援の研修がまだ少ないことや、学習障がいの生徒が試験でパソコンを使えないこと、やり直しのための県立高校間の転入ができない問題など、今の



配慮(支援)の必要な子どもの高校進学オンライン調査結果&議会報告

約30名が参加し熱心な説明会ができました

課題についても保護者と高校の先生と一緒に話しあえる場となりました。



おもな「活動記録」から

断熱改修ワークショップ @操南中学校 (8月27日)

中学生の有志40名と、建築士、NPOやPTAの方達が一緒に、木枠の窓を組んだり、塗装をしたり、壁に断熱材を入れる作業をしました。断熱性能の低い

教室を改善することで、ストーブやエアコンで使うエネルギーを減らし、気候変動のために貢献しようと、県内で3校目のモデル的な実践です。地域の大人や職人さんたちと関わりながら、中学生が協力あって作業する様子は、とても素晴らしい体験&環境学習だと思いました。また、材料費にはクラウドファンディングの寄付も寄せられました。昨年から実行委員会として検討や準備作業に携わってきましたが、母校の美

術室にこのような形で関わってよかったですし、この実践を次に繋げていければと思います。



断熱材を入れる難しい作業もみな頑張りました